

まつうら 市議会だより

第71号

令和6年11月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和6年度一般会計補正予算 4億7487万5千円可決

「赤潮被害対策等事業費」や「国指定遺跡『鷹島神崎遺跡』を含む鷹島海底遺跡を活用した歴史文化体験事業費」などが計上されました。

9月
定例会



ウブルハンガイ県(モンゴル)の大自然
8月17日～23日

モンゴル国ホジルト郡との
姉妹都市交流再開のため訪問

姉妹都市提携調印式



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和6年 9月定例会

令和6年9月定例会を、9月6日(金)から9月18日(水)までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市障害者の福祉医療費の支給に関する条例の一部改正などの条例3件、令和6年度各会計補正予算12件、その他の議案3件、認定3件、同意1件の計22件が上程され、いずれも原案のとおり可決、認定、同意しました。

最終日には、諮問1件、議員提出案件1件が追加上程され、いずれも原案のとおり了承、可決しました。

また、令和5年度の一般会計決算および各特別会計決算認定案件12件が追加上程され、閉会中の継続審査といたしました。

(※議案等の審議結果については、10ページから掲載)

会期日程

9月
6日(金)

本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長・報告

▽市長の市政概況報告

▽文教厚生委員会の中間報告

▽西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会の中間報告

報告

▽市長提出の諸事項報告

▽市長提出案件の上程・説明

・審議・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

7日(土)・8日(日)

休会

9日(月)・10日(火)

本会議

▽一般質問

11日(水)・13日(金)

委員会

14日(土)・17日(火)

休会

18日(水)

本会議

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽市長提出案件の追加上程・説明・審議

▽特別委員会の設置・付託

▽議員提出案件の上程・説明

・審議

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質するものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)としています。

今定例会では、9月9・10日の2日間で8人が質問を行います。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



↑
会議録はこちらからもご覧になれます。(9月定例会の会議録は12月定例会前に公開予定)

議会は

インターネット中継でも
ご覧いただけます。

次の定例市議会は

12月です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



↑
録画映像はこちらからもご覧いただけます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel(0956)72-1111

一般質問

武 辺
議 員

○本市における防災対策の現状と課題について

質 第5次男女共同参画基本計画では防災会議の委員に占める女性の割合を早期に15%とし更に30%を目指すこととなっていますが本市の現状をお尋ねします。

防災課長 34人で構成される委員のうち2人が女性で、割合は5・9%です。

質 女性の割合の増加について、今後の予定をお尋ねします。

防災課長 市内各種団体の代表に構成委員として参加いただいています。が、今後の改選時に女性委員の推薦を働きかけたいと考えています。

質 要配慮者利用施設では避難確保計画を策定しなければならぬとなつていますが、現状と計画策定における指導内容をお尋ねします。

防災課長 市内31施設のうち、11施設が策定済みです。未策定の施設については個別訪問を行い、国の指針に基づき、施設の形態、立地状況に応じた避難訓練の方法など、計画に記載する内容を説明しています。

質 保育所における避難に関する状況についてお尋ねします。

子育て・こども課長 令和3年度に避難情報発令時の保育施設等の対応基準を定め、警戒レベル3の発令時には登園自粛および休園の検討、警戒レベル4以上の発令時には臨時休園としています。

質 本年8月の台風10号接近時の避難場所として開設した小中学校では体育館に空調設備がないため校舎内避難でしたが、御厨中学校校舎は雨漏りが激しく避難場所としては使えません。また御厨公民館は避難所としての機能を発揮できないため開設されませんでした。現状をお尋ねします。

生涯学習課長 新しい公民館ができるまでの間、社会教育施設としての機能を維持できるよう適切に管理したいと思っています。

質 現御厨公民館は避難所としては使用しないということですか。

福祉事務所長 御厨地区においては優先順位を決めており、御厨小学校、御厨中学校、御厨公民館の順での避難所を予定しています。

質 女性視点での避難所環境整備について今後検討すべき点をお尋ねします。

福祉事務所長 長期的避難を考慮し、女性専用のスペースの確保と、女性のニーズに合ったものを女性職員等の意見を参考にし、より必要な備蓄品の拡充に努めたいと考えています。

一般質問

志 水
議 員

○市民のための医療体制について

質 医師の確保は右から左というわけにはいかず、非常に難しい問題だと思われませんが、なぜ青島診療所の常勤医師の募集をされないのか、地区の皆さまの理解が得られる説明をお聞かせください。

健康ほけん課長 松浦中央病院の開設により夜間の救急搬送を市内で受け入れることが可能となったことと、週2日の開設を行っており、1診療日当たりの患者数が令和3年度は14人、4年度は10人、5年度は7・9人と少ない状況から、常勤医師の募集は行っていないです。

質 今後、市民の安心できる医療体制を構築するため、救急艇の導入も一つの手段であると考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 救急艇については、建造費や設備費が多額となることや、配置要員、交代要員等々、従事する人員の確保が相当数必要です。

理想的であるということは十分承知していますが、導入については現時点では難しいと考えています。

○松浦市公共施設等総合管理計画に基づき今後の方針について

質 公共施設の更新・運営におけるPPP・PFIといった民間活力の導入に向け、具体的にどのような実践計画を掲げているのか、お聞かせください。

会計課長 本市の公共施設等総合管理計画において、本庁舎やスポーツ施設、公営住宅を将来建て替える際の整備手法の一つとして記載をしているところです。

現在、これらの施設について、建て替えの予定はありませんが、将来施設整備が具体化していく中で、PPP・PFIの導入について検討することになると考えています。

質 解体工事に活用できる補助金等の財源や、新たな基金の創設の考えはないか、市長の考えをお聞かせください。

市長 基本的には、施設跡地を活用し、新たな施設を整備する際に充てることが可能となる補助金や、地方債などの有利な財源を利用すべきであると考えています。

また、民間企業などへ、解体処分まで含めて施設を譲渡するといったことも有効であると考えています。

単に一般財源を解体費用に充てるのではなく、施設ごとの状況を総合的に判断して、解体処分の費用・財源の確保に努めていきたいと考えています。

一般質問



金井田 議員

○松浦産未利用魚について

質 未利用魚とは、おいしいけれど、見た目が悪い、傷があるなどの理由で規格外とされ、魚市場で正式な競りや入札が行われない魚のことです。

本市で水揚げされる未利用魚の取引と流通を改善できれば、持続可能な水産資源の食料システムを作ることができると考えますが、市長の见解をお尋ねします。

市長 まずは未利用魚に付加価値をつけることが重要と考えます。

また、消費者の認知度を高めるために、料理教室や試食イベントを通じて、未利用魚の調理方法を紹介することも効果的だと考えています。

これらに加え、骨を取り除く技術や臭みを取る技術など、加工技術を開発・導入することが必要と考えられます。このような取り組みを行った上で、地域の漁業者、加工業者および小売業者が連携し、未利用魚の効果的な流通を図ることが重要だと考えています。今後機会を捉え、対応を検討します。

○陸上養殖について

質 陸上養殖は、海面養殖と違い、閉鎖循環システムを利用することで水質汚染を防ぎ、外部環境の変動にも左右されない安定した生産が可能であるため、海洋環境への影響を最小限に抑えることができます。

陸上養殖は持続可能な未来を実現するための重要な手段として今後ますます注目されると考えています。陸上養殖に対する市長の见解をお尋ねします。

市長 本市では、伊万里湾の静穏な漁場特性を生かし、海面での養殖業が盛んですが、閉鎖的であるがために、これまで何度も赤潮による漁業被害が発生した漁場でもあり、この課題を解決する方法のひとつとして、環境変化に強い陸上養殖があると考えています。また陸上養殖の技術開発は進歩しており、エネルギーコストの低下、環境配慮型など、さまざまな技術が開発されています。

しかしながら、陸上養殖を行うためには、海面と同等の生育環境を整備するために多額の投資と高度な技術が必要であり、施設整備用地の確保、海水の供給、排水施設も必要になります。また海面漁業においても技術開発が進んでいることから、本市において養殖業をどのような形で振興し、持続可能な水産業としていくのか、長崎県とも連携して研究していきたいと考えています。

一般質問



立 鈴 議員

○著しい気候変動に伴う農業・漁業及び畜産業の現況について

質 農業、畜産業、水産業者は、著しい気候変動に伴う日々の猛暑により、厳しい経営に直面し、一層深刻さを増している。農業機器諸経費および燃料費増大、畜産業では、牛の価格低下、高齢化に伴う畜産廃業による稲WCS（発酵粗飼料）耕作地の荒廃地拡大が進んでおり、水産業では、赤潮発生が甚大な被害を及ぼしている。これらの第一次産業は命に直結している。現状を伺う。

農林課長 肥料価格は、直近で最も高かった令和5年4月に比べれば持ち直していますが、今年7月においても高い水準となっています。

牛の飼料価格は、直近で最も高かったのは令和4年11月ですが、今年7月においても高い水準となっています。

農機具は、今年7月が過去最高の水準となっています。

子牛の販売額は、令和5年9月が最も低く、今年8月もそれに次ぐ安値でした。

水産課長 新松浦漁協が伊万里湾内の海面3か所で、赤潮のプラシクト

ンの発生を早期に観測するためのテレメーターを設置しており、今年も6月から伊万里湾の奥の方を監視していましたが、今回は外海の方からの発生であったと見られ、警戒が追いつかなかったところでした。

○市内商店街の購買力向上への現況について

質 市内商店街の購買力向上が形に表れるのは、まず私達が松浦市内商店街で賄える必要品目は一品でも多く買い物をし、購買力を上げる認識を一人一人が強く持つ事だと思う。

そのことにより個々の商店は所得増となり、効果は計り知れない。

商店主、商工会議所、消費者、行政の方々の協力で知恵を出し合い、以後、シャッターが閉まる市内商店を無くし、購買力の向上、所得増加となる効果的な施策を図るべきと思うが、市は現状をどう捉えているのか伺う。

産業振興課長 市内商店街の現状ですが、物価高騰や人件費高騰の影響を受け、売り上げはコロナ禍以前までには戻らず、特に飲食店では、運転代行業者の減少等により営業時間を短縮する店舗もあり、依然として厳しい状況にあります。また一方でアジフライの聖地の認知度向上により、売上げが増えている店舗もあり、と松浦商工会議所と福鷹商工会からお聞きしています。

一般質問



大橋 議員

○がん患者及びがん経験者に対する
アピアランスケア助成について

質 近隣市町で対応されているアピアランスケア助成について松浦市においても事業を制度化していただきたいと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 近隣市町で既に実施されており、本市としてもアピアランスケア助成事業の実施に向け、財源確保に努めたいと考えています。

※アピアランスケアとは、がんやがんの治療により外見が変わっても、安心して自分らしく社会生活を送られるように支援する事です。

○松浦高校のまつナビ中高一貫教育と部活動支援による高校の魅力化について

質 松浦高校で野球をやりたい子どもたちがいて、その保護者もやらせたいと思っていられしやるのに、現在、松浦高校の野球部は残念ながら休部中です。大崎高校野球部のように外部監督を松浦高校に招聘し、市役所で職員として働きながら子どもたちの指導に当たっていただくことはできないか。3年後、松浦市が甲

子園に沸く夢をみんなで追いかけていと考えますが、市長の考えをお聞かせください。

市長 「まつナビ」の中で、松浦高校の部活動支援も行っていますので、支援は可能かとは思いますが、スポーツ支援員を市の職員として採用し、支援を行うことは現時点では考えていません。

質 この支援をすることにより、松浦高校の野球部の子だけではなく、相乗効果で周りのクラブの子たちも元気がよくなります。松浦市全体の浮揚のために、今の高校生たちに投資をするということが、5年後、10年後の松浦を作ると私は思っています。

野球部への支援をすることにより、この松浦市で仕事をしていくという子が育つのではないかと考えていますが、市長の考えをもう一度お聞かせください。

市長 行政が高校野球部の支援として、コーチを雇い、強化を図っていく自治体は県内にありますが、それ以外の生徒にとって、それが最適なのかということです。松浦高校の支援は、全ての生徒たちを支援対象にしており、松浦の子どもたちが、松浦唯一の高校、松浦高校に進み、松浦を愛し、将来、松浦に帰ってきてくれることを高校と一緒に取組みたいと考えています。

一般質問



徳田 議員

○県道喜内瀬鍋串辻線改良整備について

質 県道改良工事里工区は一部狭いままですが、これで完了なのか。今後の計画・用地交渉について伺います。

建設課長 用地取得が困難な土地があり、取得した用地の範囲内で長崎県の改良工事が行われています。

今後、用地の取得が可能となるなど、状況の変化があれば改めて改良工事を行ってほしいと、地区役員の皆さまから要望を受けています。

質 合併前の要望時、里工区の完了後、初ノ浦地区を着手すると記憶しています。里工区が一旦終了するのであれば、初ノ浦地区から喜内瀬地区までの改良整備ができないか伺います。

建設課長 初ノ浦工区は、改良の必要性はあるが、福島地域の他の要望区間もあり、長崎県に対し引き続き道路改良を要望して参ります。

質 喜内瀬地区から伊万里釜釜地区は大型車が通るには狭く、急カーブも多い。改良整備ができないか伺います。

建設課長 線形不良により視距が確保されていない箇所があるなど危険

な状況であり、本市の意見を聞きながら事業化に向けた検討を進めるとの長崎県の見解が示されています。

○喜内瀬園地の元寇供養塔移設について

質 供養塔について、国定公園内の喜内瀬園地から、初崎地区への移設は困難と考えているのか伺います。

文化観光課長 一定の基準を満たせば移設は可能であると、長崎県に確認できましたので、当該地区への移設は検討の余地があります。

質 供養塔は民間企業が建立されたもので、当時の背景、町民の気持ちをどう捉えたのか、伺います。

文化観光課長 現在の場所に建立するに至った背景に、企業の代表者の思いのみならず、それに関わった皆さまもおられたものと推察しました。

質 市の所有・管理であり、元軍が眠る海が見える初崎海岸に移設できないか伺います。

文化観光課長 市が主体的な目的を持って移設することは難しく、どのようにしたら供養塔の移設ができるかを、引き続き歴史観光推進協議会と協議していきたいと考えています。

質 元寇750年記念事業として移設できないか伺います。

文化観光課長 移設の目的自体も整理し、手段について、引き続き検討したいと思っています。

一般質問

川下
議員

○带状疱疹ワクチンの市独自の助成金について

質 市町村独自の助成事業を実施している自治体数を伺います。

健康ほけん課長 現在、全国の地方自治体のうち約38%に当たる660の自治体で実施されていると認識しています。

質 国が定期接種化を検討している中で多くの自治体が独自の助成事業を実施した理由をどのように分析しているか伺います。

健康ほけん課長 带状疱疹はワクチン接種による発症予防効果が期待できることや接種費用が高額であるため、経済的負担の軽減を図ることを理由に独自の助成事業を実施されていると思われる。

質 定期接種化は時期が未定である。その間、松浦市独自の助成事業の実施について市長の見解を伺います。

健康ほけん課長 市民の健康を守り、重症化を予防する観点から必要性は認識していますが、財源の確保など課題があり、既に、国において定期接種化に向けた議論を進めていますので、この国の動向を注視するとともに、関係者のご意見などを賜り、

研究したいと思っています。

○モバイル診療について

質 五島市が先進的に取り組んでいる、モバイル診療というものがあり、患者さんに通院してもらうのではなく、看護師を乗せた車が患者さんのお宅や近所まで行き、インターネットを使い、診察するものです。

モバイル診療は、高齢化と人口減少による通院困難地域において、重要な医療的インフラと考えます。全国が注目する事業であり、松浦市における事業化、調査研究について伺います。

市長 メリットがある反面、デメリットもあるため、まずは市内医療機関の維持と通院のための交通環境の確保、市民の健康増進に努める必要があると考えています。

今後、さらに高齢化が進み、医療機関に通えなくなる高齢者多数地域が増加し、訪問看護や訪問診療等でもカバーできないような状況が生じることとも予想されることから、引き続き、国や民間の動向も注視していきたいと考えています。

高齢化の進展は避けられない問題であり、それを解決する手段の一つとしてモバイル診療もあるという認識で、先進地の取り組みなどを注視し、今後に備える準備をしていきたいと思っています。

一般質問

和田
議員

○奨学金返還支援制度について

質 多くの業界への人材確保や若年層の移住・定住施策につながると思われる奨学金返還支援制度の創設について、市長のご所見を伺います。

市長 県内他市において既に、奨学金の返還を支援する制度を実施され、いずれも多くの対象者への支援実績があることから、一定の需要はあるものと考えています。

一方で本市においても、働き手の確保や移住・定住を目的として、さまざまな事業を展開しているところ

です。
奨学金返還制度等についても、既に地元の民間企業において独自に奨学金の返還に対する支援に取り組みれていること等を踏まえ、目的を明確にし、費用対効果など、十分な分析を行い、官民一体となって課題の解決に向けた制度の構築について検討していきたいと考えています。

○現行の健康保険証の廃止、マイナ保険証への一本化に伴う影響について

質 健康保険証等がマイナンバーカードに紐づけられ、一本化されることにより、基礎自治体である市にお

いてはさまざまな業務の負担増が考えられ、今後も増え続けると予想されますが、市長のご所見を伺います。

市長 松浦市国民健康保険におけるマイナ保険証の状況ですが、本年6月末時点で、66・3%の被保険者の方々が登録されており、その利用率は、同じ6月末時点で11・32%となっています。

健康ほけん課では、システムの整備・改修に係る業務、広報業務、資格確認など、新たに発生した書類の作成・送付に係る業務、被保険者の情報が紐づけられているかをチェックし、エラーを修正する業務が既に増えています。また市民生活課では、マイナンバーカードの作成、健康保険証への紐づけ、暗証番号の誤入力等によるロックの解除などの業務を行っています。

これらの業務に加えて、市民の皆さまや医療機関からの問合せの対応や、マイナ保険証が使えないなどのトラブルへの対応が今もあります。健康保険証が廃止される12月2日前後から急速に増えることが予想されます。

健康保険証をマイナンバーカードに紐づけるという一見効率的な制度ですが、実際にはさまざまな課題を抱えており、それらの課題に対応するための業務は、今後さらに増え続けるのではないかと考えています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計
補正予算（第3号）関係分について

補正前予算額1億83億386万7千円から、4億7487万3千円を増額し、1億88億6165万3千円となりました。

（歳入）歳入の主なものとしては、地方交付税1億9524万5千円の増、繰入金1億5109万1千円の減、繰越金4億8895万7千円の増、市債1億6290万円の減が計上されました。

（歳出）歳出の主なものとしては、市役所本庁南側駐車場におけるソーラーカーポート設置について、急速充電器1基、普通充電器6基のリース料として62万8千円、外部給電器購入費として105万6千円を含む総務費3億8048万9千円の増、農林水産業費1億1922万5千円の増が計上されました。

歳入歳出いずれも行政事務並びに事務遂行に必要な補正であり、妥当と認めました。

【議案】財産の取得について

鷹島学校給食調理上改築に伴い厨房機器を取得するためのものであり、妥当と認めました。

文教厚生委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計
補正予算（第3号）関係分について

○遠距離児童通学費補助金に1万7千円、遠距離生徒通学費補助金に11万2千円が計上されました。西肥バス運賃の料金改定に伴うものであり妥当と認めました。

○福島診療所の電話機修繕費として225万3千円計上されました。

所内の電話機の故障により、今後の業務に支障をきたすため妥当と認めました。

○福島中学校放送設備のアンプが故障し取替修繕料として39万6千円計上されました。生徒が学校生活において支障をきたすため、妥当と認めました。

【議案】松浦市障害者の福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について

障害者への福祉医療費助成において、令和6年10月1日から中学生以下の対象者に対する支給方法を現物給付化することに伴い、条例の一部を改正するため妥当と認めました。

産業経済委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計
補正予算（第3号）関係分について

○令和6年7月中旬に発生した赤潮被害に対する支援として赤潮被害対策等事業に9774万6千円が計上されました。養殖再開に必要な代替魚の購入費用等の支援により養殖業者の事業継続、産地維持を図るとともに、今後の赤潮被害軽減に取り組み強い養殖業者の育成を推進するために必要な予算計上であり、妥当と認めました。

○松浦貯蓄共済協同組合に対する側面的支援に伴うものとして730万9千円が計上されました。専門的知識を有する者の体制整備や会計年度任用職員を配置するために必要な予算計上であり、妥当と認めました。

○国指定史跡「鷹島神崎遺跡」を含む鷹島海底遺跡を活用した、歴史文化体験13世紀の歴史遺物を探す旅造成事業として270万円が計上されました。文化庁の補助金を活用し

て、モニターツアーや連携会議を実施するなどのコンテンツ造成に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会】

7月17日に本市において松浦、伊万里、平戸、佐世保市議会、佐々町議会の4市1町で西九州自動車道建設促進協議会総会が開催されました。西九州自動車道の早期完成に向けた令和6年の活動計画等を決定するとともに「道路整備予算の確保等に関する決議」を採択し、政府および関係機関へ決議文を送付致しました。

また8月5日に会員一同で佐賀県知事、佐賀県議会議長および佐賀国道事務所長、さらに長崎県知事、長崎県県議会議長ならびに長崎河川国道事務所長に対し、西九州自動車道伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の予算確保等を要望致しました。

それぞれにおいて、さらなる事業推進の為、引き続き予算確保にとり組んでいきたいとの回答をいただきました。

所管施設調査

【総務委員会】

7月22日に所管施設調査を行いました。

今回は、旧養源小学校、福島支所庁舎、消防署福島出張所を訪れ、施設の現状を調査し、担当者との意見交換をしました。

旧養源小学校は特定非営利活動法人山王学舎を相手方として、令和6年度から令和10年度までの5年間、市有財産の減額による貸し付けを行っています。山王学舎は、旧養源小学校の木造校舎を活用され、この夏休みに、市内の子どもと福岡方面の子どもを対象とした、お泊り読書会を実施されており、松浦市の交流人口の増加と地区の活性化に寄与されていました。

福島支所庁舎、松浦消防署福島出張所ともに、壁のひび割れや雨漏り、シロアリによる柱や床等の腐食が酷く、著しい老朽化が目立ちます。空調設備も十分に整備されていない状況にあり、防災拠点、行政サービス施設として早期の改善を求められる状況にあることを確認しました。

今後の議案審査および政策提言に役立ててまいります。

総務委員会所管施設調査の様子



消防署福島出張所



福島支所庁舎



旧養源小(NPO法人山王学舎)

【文教厚生委員会】

7月4日～5日に所管施設調査を行いました。

4日は福島町の斎苑、図書館、歴史民俗資料館、総合運動公園、小中学校、学校給食共同調理場、診療所。5日は鷹島町の埋蔵文化財センター、鷹島公民館、高齢者生活福祉センター(水仙苑)、小中学校、学校給食共同調理場、診療所の各施設の現状調査や今後の活用などについて担当課と意見交換を行いました。

両町の学校施設以外は、老朽化が目立ち各施設とも雨漏りや外壁の剥がれなどがみられました。今後については予算も限られているので、状況を見ながら修復などを行っていくとの事でした。福島町の総合運動公園は、公園敷地内を使用して中総体駅伝などを行えるのではないかと、委員から意見が出ました。また鷹島町の水仙苑については予算の兼ね合いもあります。個室があり空室にしておくのがもったいなく、活用方法についても、修復を行えば、市内の独居高齢者、または高齢夫婦にとって十分住める環境になると委員から意見が出ました。

今回の施設調査を行い行政と連携をとり、市民の皆さまにとってより良い環境で利用できるよう努めていきます。

文教厚生委員会所管施設調査の様子



埋蔵文化財センター



福島歴史民俗資料館



福島図書館

議会目録

7月

- 4日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会
理事會
(伊万里市)
- 4日・5日
◇文教厚生委員会所管施設調査
- 8日◇全国市議会議長会産業経済委員会
(東京都)
- 11日◇全国離島振興市町村議会議長会総会及び研修会
(東京都)
- 16日◇長崎県西九州自動車道建設促進期成会総会(平戸市)
- ◇市議会だより編集委員会
- 17日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会
総会
(松浦市)
- 22日◇総務委員会所管施設調査

8月

- 5日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会
要望活動
(長崎市・佐賀市)
- 6日◇文教厚生委員会
- 21日◇長崎県市議会議長会臨時総会
(佐世保市)
- 22日◇長崎県市議会議長会議員研修会
(佐世保市)
- 23日◇長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会(長崎市)
- 28日◇棕呂路・板山トンネル建設促進期成会要望活動
(長崎市・佐世保市)
- ◇北松北部環境組合議会定例会
(平戸市)
- ## 9月
- 2日◇議会運営委員会
6日・18日
- ◇9月定例会
- 9日◇各派代表者会
- 10日◇市議会だより編集委員会
- 18日◇議会運営委員会
- ◇全員協議会
- ◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

募集や応募に関する詳しい内容については、市議会ホームページの「まつうら市議会だより表紙写真募集要項」をご覧ください。
(松浦市公式ホームページ<https://www.city-matsuura.jp/>トップページ中段右「松浦市議会」→市議会だより)



インターネットでご覧になれない方は、議会事務局でも募集要項を配布しておりますので、0956-72-0264(直通)にお電話のうえご来庁ください。

表紙写真を募集します！

あなたに映った松浦の魅力、
表紙で届けてみませんか？

議 案 等 の 審 議 結 果

条 例	☐ 松浦市障害者の福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	☐ 松浦市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市電気自動車用急速充電器の設置及び管理に関する条例の制定について	可決（全員）
予 算	◎令和 6 年度松浦市一般会計補正予算（第 3 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	☐ 令和 6 年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員）
	◇令和 6 年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員）
	◇令和 6 年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員）
	◇令和 6 年度松浦市水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	◇令和 6 年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）
	◇令和 6 年度松浦市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決（全員）

議案等の審議結果(つづき)

その他	○財産の取得について	可決（全員）
	○松浦市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員）
認定	◇令和5年度松浦市水道事業の決算認定について	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市工業用水道事業の決算認定について	可決（全員）
	◇令和5年度松浦市下水道事業の決算認定について	可決（全員）
	▼令和5年度松浦市一般会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市鉾害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市国民健康保険特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市介護保険特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市福島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市鷹島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市下水道事業特別会計の決算認定について	継続審査

議 案 等 の 審 議 結 果 (つづき)		
認 定	▼令和5年度松浦市松浦魚市場特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市臨海土地造成事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和5年度松浦市工業団地造成事業特別会計の決算認定について	継続審査
同 意	※松浦市監査委員の選任について	同意（全員）
諮 問	※人権擁護委員候補者の推薦について	了承（全員）
請 願	☐ ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	継続審査
	☐ 健康保険証の存続を求める意見書採択に関する請願について	継続審査
	☐ 地方財政の充実・強化に係る意見書採択に関する請願について	採択（全員）
議 員 提出議案	※地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	可決（全員）
(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会 △・・・議会運営委員会 ▼・・・決算審査特別委員会		

編集委員の
つぶやき

今年の9月は「酷暑の九月」とも言えるほどの暑さが続きましたが、10月に入ると急に気温が下がり、ようやく秋らしさを感じるようになりました。「文化の秋」「スポーツの秋」とも言われますが、皆さまにはぜひ自分の時間を大切にし、充実した秋をお過ごしいただきたいと思います。

今号が皆さまに渡るのは11月初めころで、その頃までに国内政治においても国際政治においても大きな変化があります。日本では新しい首相が誕生しアメリカでも次期大統領もまもなく決まります。両国のトップがともに交代する中、世界情勢に対応した、どのような舵取りが行われるのか国民にとって関心の高いことと思います。

10月27日には衆議院議員総選挙が行われ、国民の代表が選ばれました。国会で決まったことは国民の生活に影響します。だからこそ年代問わず皆さまには選挙という形で政治に関わっていただきたいと思っています。

市議会だより編集委員会

委員長 武部 周清

副委員長 吉岡 健次

委員 志水 周

委員 和田 大介

委員 川下 高広